

江西学区安全・安心ネットワーク活動

※世帯数及び人口は令和3年4月1日現在

東区	小学校区・地区名	江西学区	世帯数	7,101 世帯	人口	15,358 人
----	----------	------	-----	----------	----	----------

■組織の概要

平成19年1月瀬戸町が岡山市と合併したことにより、江西学区安全・安心まちづくり協議会を結成し活動を展開、今日に至っています。平成24年6月に瀬戸町合併特例区が解散したことにより会則の一部を改正し、名称を安全・安心ネットワークに変更しました。現在、連合町内会はじめ、学校関係・学区内で活躍する各種団体等31団体で構成されています。



どの活動においても、一人でも多くの住民にその意識を持ってもらうことが必要と感じていますが、活動を重ねることで徐々に浸透しているのではと感じています。



←避難所運営体験

■活動の取組内容

小学校の登下校の見守り活動を主に、交通安全、防災活動、健康管理等に取り組んでいます。

活動は、構成団体が、その目的に沿って個々に活動を展開していますが、全体としては、交通安全パレード、防災訓練、健康管理の広報活動、研修などを行っています。



↑消防署音楽隊による、啓発活動を研修会で開催

中高生による救急法体験→

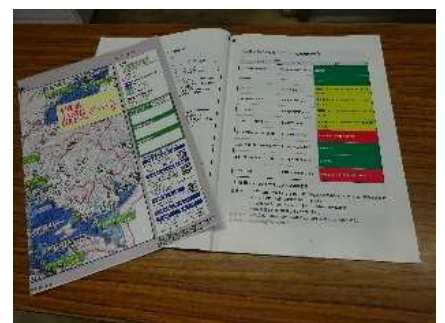


←中高生に「防災について」の作文を募集したところ、19名から応募がありました。

■工夫していること

活動には、若い世代の参加も必要と感じて、防災訓練にはボランティア活動の場を設け、中学生、高校生を対象に参加を呼び掛けています。非常食の配給や救急法の指導員などに参加しており、また、防災に関する作文の募集、発表等行っています。

尚、地域内の防災意識を高める目的で、江西学区独自の「防災ノート」を作成し、全世帯に配布しています。



↑江西学区防災ノート

毎年、交通安全パレードを開催、保育園児による鼓隊で盛り上げています。→



←健康21「おかやま市民体操」でウォーキング前の準備体操

■活動の成果